

# 令和3年度（2021年度）の活動記録

## 【弥彦村スクールサポーター通信 vol.5】

9月24日、弥彦小学校の全校遠足「わかばウォーク」がありました。4コースに分かれて村内の名所や名物などのチェックポイントをめぐる遠足で、子どもたちは1～6年生までの縦割り班に編成され、そこにそれぞれスクールサポーターや保護者ボランティアが配置されました。長い距離を歩くので、班の子どもたちの体調管理や交通安全の確保などが主な役割でした。

子どもたちとの会話も楽しみながら、一緒に汗を流しました。また、4月からの子どもたちの成長も感じられました。

みなさんも、村の学校のために！自分のために！周りの誰かのために！「できるときに、できることを」一緒にしてみませんか？

いつでも登録をお待ちしています。  
(地域教育コーディネーター 鈴木)



令和3年9月24日 ヤホールにて

## 【弥彦村スクールサポーター通信 vol.4】

少し時は遡り、まだ夏休みの8月18日、中学校礼法室の障子の張替えを行いました。かなり歴史を刻んできた障子を、声を掛け合いながら協力して張替え白く、明るく、張りのある障子に生まれ変わり、全員で達成感を感じることができました。地域の皆さま、協力してくださる学校関係者の皆さま、心から感謝しています。



令和3年8月18日 中学校礼法室にて

また、日ごろから新型コロナウイルス感染症の拡大防止にも努めながら、地域の皆さまの健康や学校の活動にも支障が出ないよう活動をしています。

みなさんも、村の学校のために！自分のために！周りの誰かのために！「できるときに、できることを」一緒にしてみませんか？  
いつでも登録をお待ちしています。

(地域教育コーディネーター 阿部)

## 【弥彦村スクールサポーター通信 vol.3】

昨年度から本格始動した弥彦村スクールサポーター制度（地域住民によるボランティア活動）。今回は、スクールサポーターの協働パートナーである学校運営協議会についてご紹介します。

**学校運営協議会**は、学校関係者、地元団体・企業等の関係者、PTA、地域住民などで構成される学校支援の専門機関です。

「弥彦村の子ども達は、将来こんな人間に育ててほしい」と、将来の子ども像を学校と地域で共有し、学校の先生は授業・特別活動などを通じて、子どもたちの成長に日々尽力しています。

ただ、子どもたちが学校ですごす時間は1日の3分の1程度です。学校で生じる様々な課題があっても、学校だけでは解決が難しいものも少なくありません。

そこで、家庭や地域に何ができるか考え、実践に移すための働きかけを行うのが学校運営協議会の役割になります。弥彦村でも様々な立場の人が自分にできる何かを考えて、一緒に子育てをしています。

（教育委員会 コミュニティ・スクール担当 徳永）



令和3年6月30日 第1回会議の様子

## 【弥彦村スクールサポーター通信 vol.2】

**仲間を募集中！**

5月より、弥彦小学校で朝の「**図書室ボランティア**」の取組をしています。



主な活動内容は、毎日8時から8時15分に本の貸出・返却を行うことです。サポーターには、毎月、従事可能な日・曜日を確認し、コーディネーターが調整することで、「できるときにできること」を、無理なく持続的に取り組める仕組みとなっています。

子どもたちと日々関わる中で、交わす挨拶や会話も次第に増えてきました。

サポーターの皆さんからは、「子どもたちから元気をもらっている」、「子どもたちと関わって楽しい」と、充実している様子が伺えます。

みなさんも、ぜひ一緒に活動しませんか。いつでもお待ちしております。

（地域教育コーディネーター 阿部）

## 【弥彦村スクールサポーター通信 vol.1】

5月22日、弥彦小学校では2年ぶりに運動会が開催されました。

この小学生たちの一大イベントのために、10日ほど前から、小学校グラウンド周りの草取りを中心とした環境整備活動をスクールサポーターで行いました。

土曜日の暑い日差しの中（右写真）、黙々と草取りをし、休憩時にはアイスクリームを食べながら、談笑している姿に心が温まりました。

村の子どもたちのために、皆さんも一緒に活動しませんか。

（地域教育コーディネーター 阿部）

